

参考資料

平成20年度 関東地方整備局補正予算の概要

(神奈川県)

平成20年10月

国土交通省関東地方整備局

【神奈川県】 主要事業一覧

■ 河川関係

区分	上段【 】:水系河川名 下段:事業(地区)名	市町村名	事業概要・ 補正予算による実施予定	効果	事業費(百万円)
直轄	【鶴見川水系鶴見川】 鶴見川総合治水対策	横浜市	洪水を安全に流下させるために浚渫や築堤を実施	浸水被害の解消	1,091
直轄	【相模川水系相模川】 相模川改修事業	平塚市	弱小堤対策のための築堤(盛土)を実施	堤防の安全性向上	80
補助	【境川水系境川】 都市一般河川改修事業	相模原市	洪水を安全に流下させるために河道掘削や護岸を実施	浸水被害の軽減	40

■ 道路関係

区分	上段【 】:路線名 下段:事業(地区)名	市町村名	事業概要・ 補正予算による実施予定	効果	事業費(百万円)
直轄	【国道468号】 首都圏中央連絡自動車道	茅ヶ崎市～ 相模原市	工事・調査設計推進	災害時の緊急輸送路の 早期確保	1,310
直轄	【国道468号】 首都圏中央連絡自動車道	横浜市～藤 沢市	調査設計推進	災害時の緊急輸送路の 早期確保	220
直轄	【国道246号】 厚木秦野道路	厚木市、伊 勢原市	調査設計推進	災害時の緊急輸送路の 早期確保	70
補助	【(一)長竹川尻】 長竹川尻1期	相模原市	工事推進	災害時の緊急輸送路の 早期確保	30

■ 港湾空港関係

区分	上段【 】:港湾空港名 下段:事業(地区)名	市町村名	事業概要・ 補正予算による実施予定	効果	事業費(百万円)
直轄	【横浜港】 (南本牧ふ頭地区)耐震強化 岸壁	横浜市	コンテナターミナルの耐震 強化岸壁の整備促進を図 る。	震災対策	510
補助	【横須賀港】 海岸侵食対策事業	横須賀市	海岸侵食対策により、再度 災害防止のため離岸堤の 整備促進を図る。	再度災害防止	156

■都市・住宅関係

区分	事業(地区)名	市町村名	事業概要・ 補正予算による実施予定	効果	事業費(百万円)
補助	下今泉門沢橋線 限度額立体交差事業	海老名市	踏切対策として、鉄道を高架化させ、踏切除却を行い、都市内交通の活性化を図る。 補正予算による補償の促進。	次年度に予定していた補償を完了させることにより、側道復旧の早期完成が図られる。	30
補助	京浜急行電鉄大師線 連続立体交差事業	川崎市 川崎区	踏切対策として、鉄道を地下化することにより、踏切を除却し、都市内交通の円滑化等を図る。 補正予算充当による鉄道本体工事を促進。	平成22年度末に予定していた3箇所の踏切の除却を平成22年度中に前倒しすることにより、踏切遮断による交通渋滞等の早期解消が図られる。	1,500
補助	星川天王町駅間 連続立体交差事業	横浜市 保土ヶ谷区	踏切対策として、鉄道を高架化することにより、踏切を除却し、鉄道により分断された市街地の一体化による都市の活性化等を図る。 補正予算充当による下り仮線切替工事を促進。	踏切遮断による交通渋滞等の早期解消が図られる。	1,200
補助	相原城山線 街路事業	相模原市	防災・震災対策として、避難所へのアクセス道路整備を実施。 補正予算充当による道路改良工事を促進。	工事を促進することにより、避難所へのアクセス道路としての効果を早期に発現させることが可能となる。	80
補助	河原口中新田線 街路事業	海老名市	防災・震災対策として、「さがみ縦貫道路・海老名北IC(仮称)」へのアクセス道路整備を実施。 補正予算による道路整備を実施。	さがみ縦貫道路供用間に合わせ、第1次緊急輸送道路の早期確保が図られる。	220

■営繕関係

区分	上段【 】:施設名等 下段:事業(地区)名	市町村名	事業概要・ 補正予算による実施予定	効果	事業費(百万円)
直轄	【神奈川県警察第一機動隊】 本館耐震改修事業	横浜市	耐震対策として、本館の耐震補強工事を実施	震災被害予防措置の促進	96
直轄	【川崎港湾合同庁舎】 庁舎耐震改修事業	川崎市	耐震対策として、庁舎の耐震補強工事を実施	震災被害予防措置の促進	98
直轄	【相模原地方合同庁舎】 庁舎環境対策改修事業	相模原市	環境対策として、庁舎の環境対策改修工事を実施	地球温暖化対策の促進	29